

業務の実施方針

■業務への取組方針

- ・私たちは本提案における管理活用棟を、ひと、出来事、歴史をつなぐ場として定義します。この定義にのっとり、深谷市の顔に相応しい新しい地域拠点として、この場所であるからこそその空間、建築を創造することを目的とします。
- ・より広域における視座に立ち、深谷市全体を取り巻く歴史ある場の新しいネットワーク拠点として相応しい、地域の方々、施設利用者、深谷を訪れる方々から共に永く愛される場の創造を目指します。
- ・管理運用棟は文化財を表面的に似せるのではなく、文化財と将来的に同等の価値を持つ建築を創ることを目指します。
- ・管理活用棟は単に、事務所・バックヤード施設として捉えるのではなく、ホフマン輪窯6号窯と一体となった創造の場・学びの場として捉え、だれでもいつでも利用できる空間を設計します。
- ・居住地や世代等従来の繋がりだけではなく、本施設を利用することで育まれる「利用縁」の形成を目指し、リピートして来なくなる空間を設計します。その結果として、中長期的に関係人口や定住人口の増加に結びつけます。
- ・打ち合わせや意見交換に際しては分かりやすい用語を用い、写真や図表、空間をイメージした模型やCGなどを用い専門家でない方々にも計画がイメージしやすいよう心がけます。



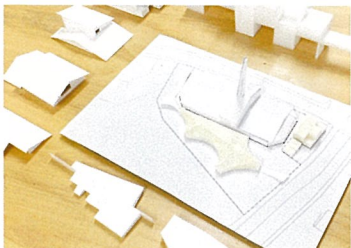
密な発注者との協議



先行類似施設見学・調査



丁寧な関係者との対話・調整



模型、CG を用いイメージ共有

■業務への実施体制

- ・「聞く力」を持ったメンバーを集め、関係者の皆様との対話から多くの意見をフィードバックし計画を深化させます。
- ・管理技術者は飲食併設施設や展示施設、研修交流施設などの設計経験があり関係者の皆様との調整経験が豊富です。
- ・構造主任技術者は文化財の保存・改修・増築の設計監理経験を有し、本計画においてもその知見を存分に活かします。
- ・建築史や景観・文化財保存を専門研究する大学学識経験者にアドバイザーとしての参画を予定いただき、建物保存や景観形成などの観点からより専門的な知見からアドバイスをもらいます。
- ・ランドスケープ（外構）デザイナーにアドバイザーとして参画いただき、外部にも活動の場所をつくり、既存施設や周囲の環境と調和のとれた外構計画を行います。
- ・協力事務所は同類施設の設計を同じ体制でおこなったメンバーを配置し、その経験を存分に活かします。
- ・担当者は20代～40代のメンバーを中心に配し、フットワーク軽く対応します。加えて、利用者目線に立ち、利用者増が求められる若い世代から子育て世代の意見を確実に反映させます。



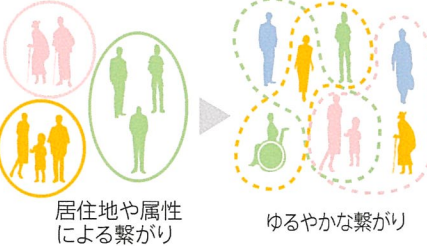
飲食施設の類似実績



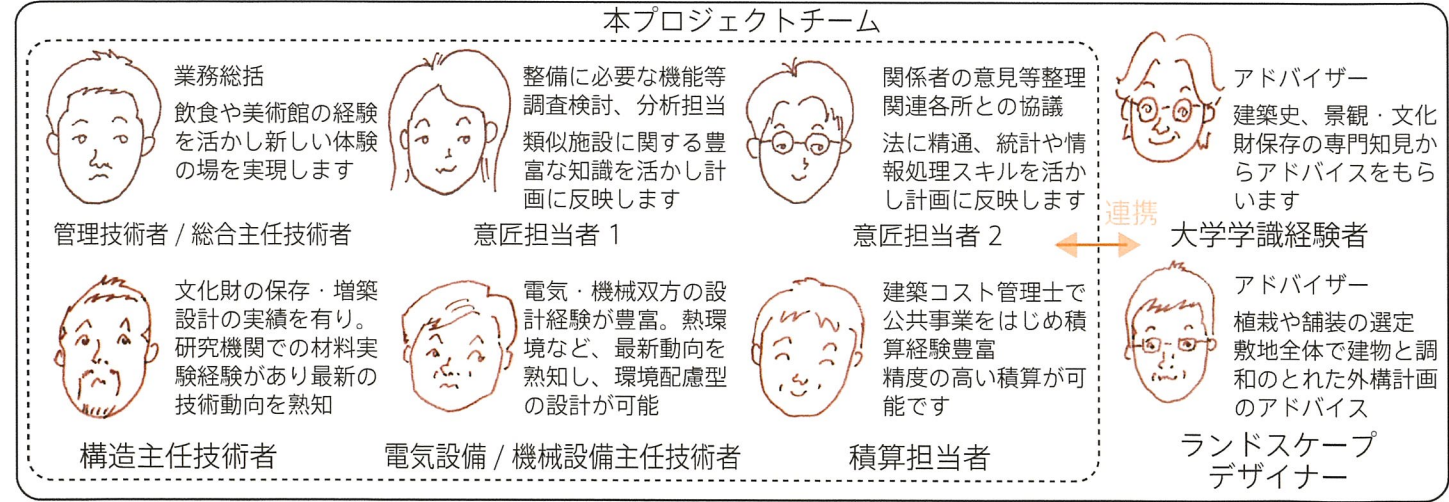
展示施設の類似実績



研修交流拠点の類似実績



人が繋がる利用縁の形成



テーマ① 『深谷＝煉瓦』のシンボル、文化学習・観光の拠点となる施設

■エリア一体のデザイン

- ・深谷の地域資源を活かすリサーチや評価をおこない、**土地の持つ魅力や潜在ニーズ・顕在ニーズの発掘や発見**をおこないます。深谷が持つ資源から新たな価値を創出し本計画との相乗効果を高めます。
- ・周辺に点在している観光スポットを本計画地を起点とした周遊ルートとして繋ぎ、**オープン・フィールド・ミュージアムとして位置づけ**市全体で観光を促します。
- ・地域の渋沢栄一ゆかりの地をはじめとした観光施設、ふかや花フェスタや深谷七夕まつり等のイベントと連動して季節や時節に沿った展示・企画を行うことで**地域全域に何度もリピートされる流れ**を生み出します。
- ・深谷市の良質な水脈や土壌が深谷の煉瓦産業の発展に寄与し、現在では主要産業となった農業にも繋がっています。その繋がりをワークショップや展示で発信することで**地域の特産品への関心を高めます**。
- ・**サイクルポートを敷地内に設置**することで近隣の観光スポットへのアクセシビリティを高め、深谷の持つ豊かな自然を感じるサイクルツーリズムへと繋げます。
- ・市内近隣だけでなく深谷の煉瓦が使用された**全国各地の建築とも連携**し、相互の建築ツアーや情報展開をおこなうなど**広域で集客・周遊に繋げる仕組み**を作ります。煉瓦の作られ方だけでなく、作られたのちの物流(河川)と作られた先の建築物を生産拠点であった深谷から発信することで全国に点在する煉瓦造建築との関わりを明らかにします。



サイクルツーリズムモデルコース（移動時間合計約80分）
①深谷駅→②深谷市役所→③福川鉄橋→ホフマン輪窯6号窯→
④誠之堂・清風亭→⑤尾高倬忠生家→⑥青淵公園→⑦渋沢栄一記念館→
⑧旧渋沢邸「中の家」→⑨道の駅おかべ→⑩滝澤酒造→①深谷駅



- ①煉瓦造駅舎：①東京駅→②深谷駅→ホフマン輪窯6号窯
②利根川：ホフマン輪窯6号窯→③野木町煉瓦窯→④横利根閘門
③埼玉・群馬：ホフマン輪窯6号窯→⑤荒川橋梁→⑥富岡製糸場



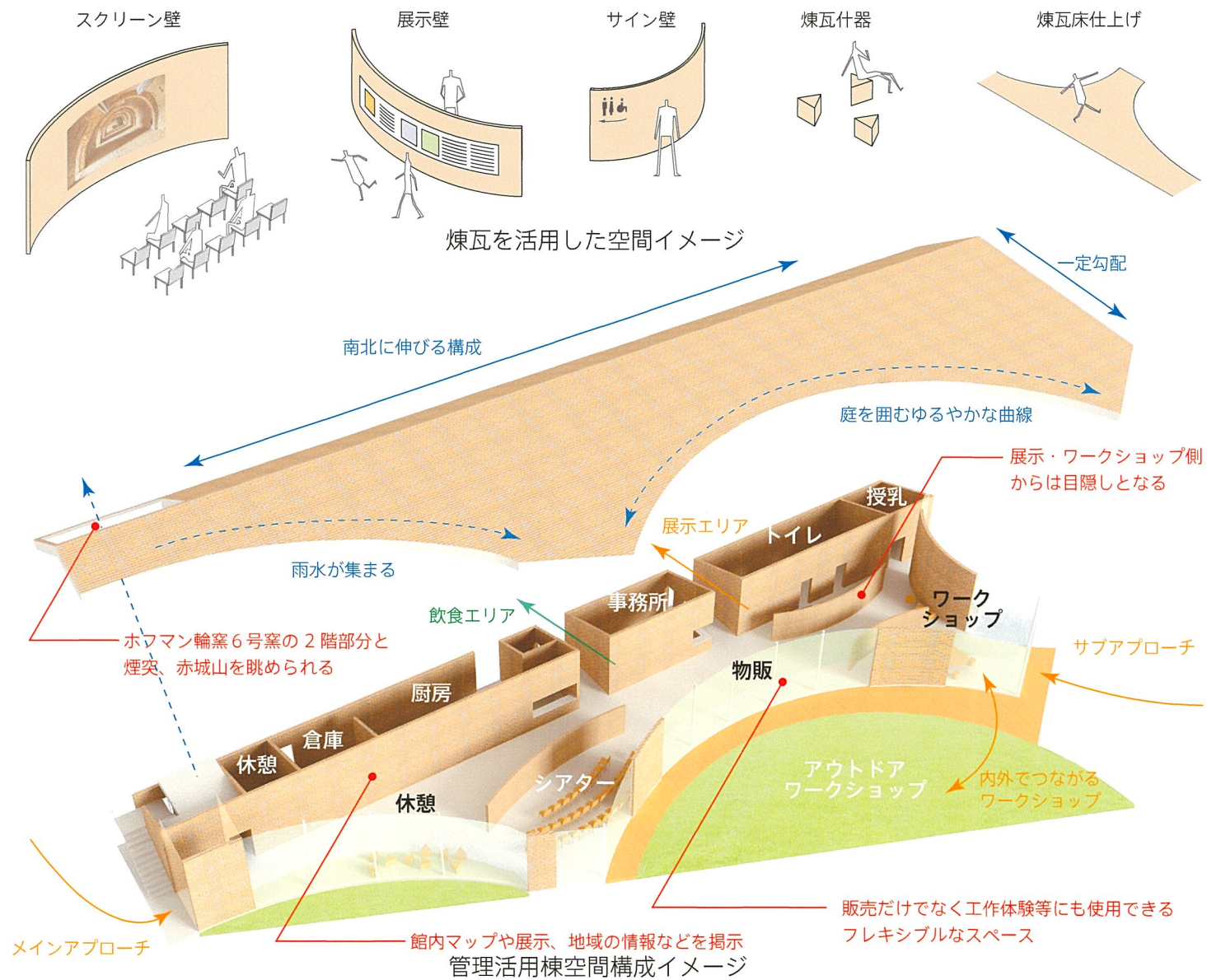
■煉瓦を多様したデザイン

- ・**深谷市とホフマン輪窯6号窯の象徴である煉瓦を多様**します。内装・外装の壁仕上げ材に加え、外部床の舗装や内部床仕上げ、空間を仕切る間仕切り壁や外構の塀にも用います。煉瓦に仕上、床、仕切り、什器などの様々な役割を与えることで、体感でその特徴に触れることで知識だけでない**直感的な体験を提供**します。
- ・ホフマン輪窯6号窯（以下、6号輪窯）の防火防犯壁と管理活用棟、外部自立壁を煉瓦で統一することで、**アプローチや外観の一体感を出し、新たな景観**を生み出します。
- ・**屋根被覆材は、外壁等と連続性のあるレンガ調タイル仕上げ**とします。タイルの微妙な色調の変化により金属葺きのような単調な外観とならずより周囲になじんだ外観となります。防水には公共建築などでも施工実績のあるブチルゴム系粘着工法とし、確実な防水機能を担保します。



■参加型展示施設のためのデザイン

- ・新設する管理活用棟は、6号輪窯や屋外空間、周辺関連施設と連続的に繋がり、大小様々な場所を創り出すことで、**利用者が能動的に参加し、探求を深めるラーニングの場**とします。
- ・管理活用棟は、6号輪窯の展示の導入機能として、その歴史を知るだけでなく**可能性を探る創造的な場**とします。
- ・ホフマン輪窯は国指定の重要文化財であることから不変性が求められますが、管理活用棟は窯内部の体験で毎回違った発見ができるよう、その時期・時代によって変化して**新たな学びのきっかけを与える建築**を目指します。
- ・管理活用棟は、その性質上閉じた印象であるホフマン輪窯を**外へ導くような形態**とし、学びが施設内で完結せず、より深い学びとなるように、**外部や周辺施設と絡めたイベント・ワークショップができる配置**とします。
- ・煉瓦による曲面壁は学習映像を投影するスクリーンや展示、サインに用いられるだけでなく、**煉瓦自体を間近で見て、触れ、活動の拠り所として機能**します。
- ・内外へと連続するワークショップスペースは6号輪窯を含めた常設の展示に関わらず野外での活動も含め**様々なラーニングプログラムやイベントに対応**できます。
- ・利用者が一度きりの観光として施設を訪れるのではなく、深谷という土地に愛着を持ったり、その他の煉瓦関連施設を訪れるきっかけとなる繋がりを持ち、利用することで生まれる**利用縁が形成される施設**を目指します。



テーマ② 来場者及びスタッフの効率の良い動線計画

■来場者に使いやすい動線計画

- ・ **学校の社会科見学や団体ツアーなどにも対応**した広いスペースや動線の確保を行います。外構でも、入口付近に団体の待機場所を設け、周辺散策時の導入ガイダンスやバスの待合に利用します。
- ・ **ユニバーサルデザインを徹底**します。管理活用棟の床レベルは、6号輪窯の飲食スペース、展示スペースと床レベルを合わせ**バリアフリー化**を行います。通路は2m以上とし車いす利用者でも通行・旋回に十分な幅とします。
- ・ 本計画の管理運用棟は主要前面道路である県道275号から奥まった場所にあるため、**屋外から施設へと誘うゆるい弧を描く煉瓦曲面壁と煉瓦舗装仕上げのアプローチをつくり**ます。
- ・ 内外部に設ける煉瓦曲面壁は、**動線の誘導、インフォメーションやサイン、深谷市や渋沢栄一の歴史など展示の導入となる情報の掲示に活用**します。
- ・ 施設の導入部にあたる管理活用棟は行き止まりや袋小路をつくらない、**回遊性のある動線**とします。
- ・ 管理機能と利用者空間を並列に並べることで**利用者動線を単純化**します。利用者空間は曲面の外壁でゆるやかに包み込むオープンスペースとすることで、**広さと高さにメリハリのついたフレキシブルな利用が可能**になります。
- ・ トイレの前の展示のための壁は背丈ほどにし、展示、ワークショップ側からの視線は遮りつつもサインは視認できるようにします。
- ・ 総合受付前に物販コーナーを設けることで管理がしやすく、展示エリア見学終了後にそのまま物販コーナーへ向かうことができます。開館時間外は防災ネットで仕切ることで防犯性を高めます。
- ・ サブエントランスを南側に設け、備前渠鉄橋からの周遊ルートに沿って管理運用棟に立ち寄れるようにします。合わせて**災害時の2方向の避難経路として活用**します。
- ・ 周遊ルート側から見た際、裏側のような印象を与えないよう、サブエントランスへも開いた計画とし、6号輪窯を含めた周辺の景色と一体となる建築とします。



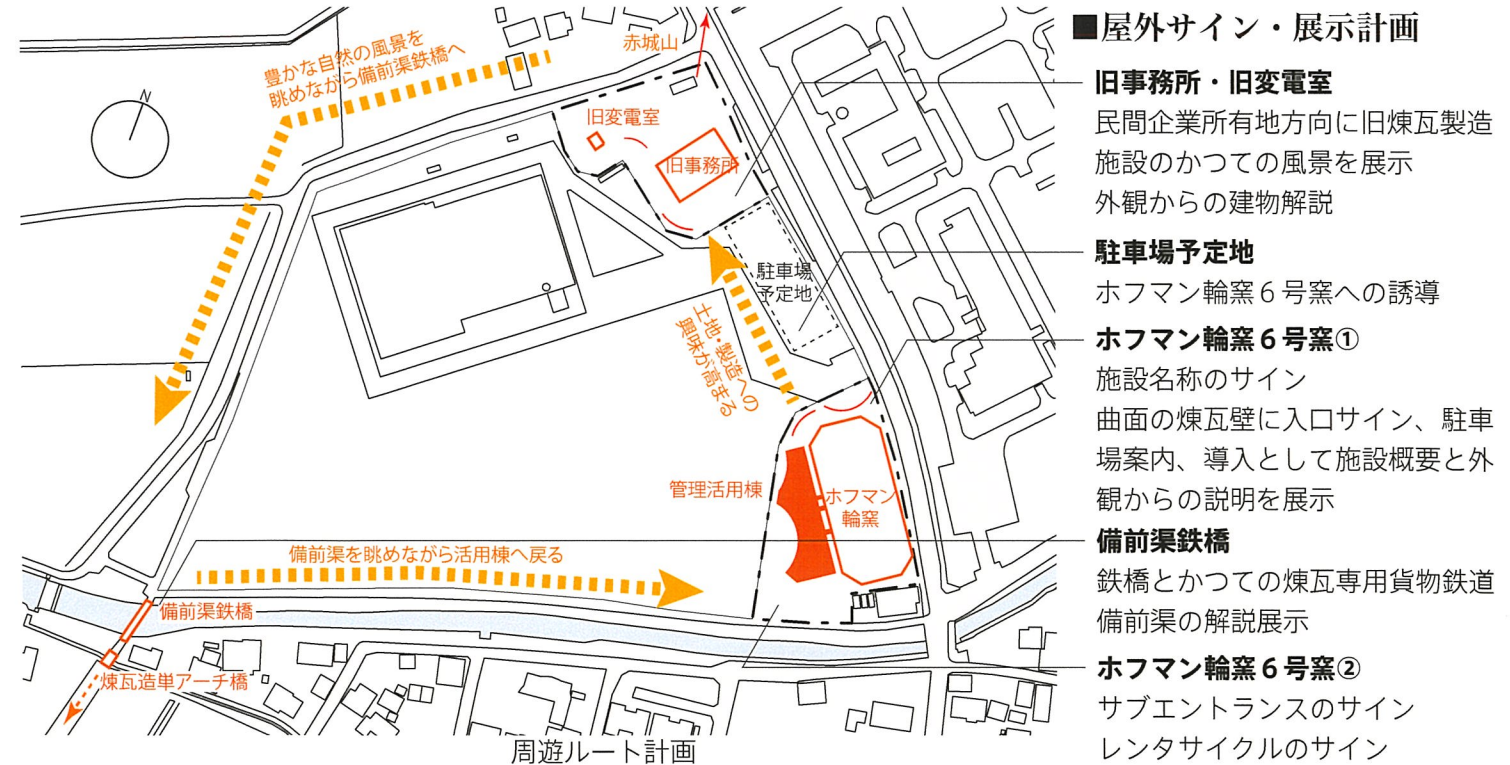
管理活用棟平面イメージ、敷地配置・動線計画

■スタッフに使いやすい動線計画

- ・ 係員用駐車場は敷地南東側に配置し、利用者動線と交錯しない、**歩車分離の安全性の高い計画**とします。
- ・ 管理運用棟の配置は敷地南西側境界から十分な離れを設け、**緊急車両が敷地奥側まで入ることのできる計画**とします。
- ・ 事務室、厨房、倉庫、職員休憩スペース等は北東の6号輪窯に近い位置に固めて配置し、**施設内及び6号輪窯への移動が最短距離でできる**ようにします。また、6号輪窯との外壁間を**バックヤード動線として活用**でき、施設内が混み合った場合でも施設運営者の外部との行き来を容易にします。
- ・ 総合受付や事務室、厨房カウンターは施設中央付近に配置することで、**利用者空間全体が見渡せ、展示エリアや飲食エリアへの出入りも把握しやすい計画**とします。また、エントランス、サブエントランス双方へ視線が通ることによって介助が必要な方が来訪された際にもいち早く対応可能です。
- ・ 展示エリアと飲食エリアの入口は各ターカ所ずつとすることで、**衛生的な区画や有料・無料ゾーンの区別を行いやすくします**。また当該部分にセキュリティラインをつくることで、どちらかが営業時間外やメンテナンス中であっても、**部分的な営業が可能**となり、開館日設定やイベント開催などの**施設運営がフレキシブル**にできます。
- ・ 打合室・応接室を厨房と事務室の間に設けることで、事務職員の来客対応だけでなく、飲食運営スタッフの新作メニューの打合せや、利用者空間での急病人の待機スペースとしても活用できます。

■分かりやすいサイン計画

- ・ 海外の方でも理解しやすいピクトサインの活用、明快な動線誘導サイン、周辺関連施設やランドスケープもあわせてサイン等の**デザインコードの統一**を行い、**誰にでも分かりやすく、建物とサインデザインの調和した計画**とします。
- ・ 管理機能・トイレ・授乳室を並行して並べることで**サインの視認性が上がり**、初めて訪れる方でも利用しやすい施設とします。サインは色覚障害をお持ちの方でも**視認しやすい色彩・配色**とします。
- ・ サインは内外で使用されること、煉瓦との親和性を考慮しコールテン鋼を用います。コールテン鋼の錆によって錆の発生を抑制するという特徴は**メンテナンス負荷を軽減し、経年変化により新旧の建物を調和**させます。
- ・ 表示は対候性のある塗料を直接印字とすることで、コントラストが高くなり視認しやすくなります。
- ・ 周遊ルート上の外部サインを建物と調和させることで建物単独で点在していたホフマン輪窯6号窯、旧事務所・旧変電室、備前渠鉄橋を、**周遊ルートの一つのストーリーとして展示体験できる計画**とします。



■屋外サイン・展示計画

- ・ **旧事務所・旧変電室**
民間企業所有地方向に旧煉瓦製造施設のかつての風景を展示
外観からの建物解説
- ・ **駐車場予定地**
ホフマン輪窯6号窯への誘導
- ・ **ホフマン輪窯6号窯①**
施設名称のサイン
曲面の煉瓦壁に入口サイン、駐車場案内、導入として施設概要と外観からの説明を展示
- ・ **備前渠鉄橋**
鉄橋とかつての煉瓦専用貨物鉄道備前渠の解説展示
- ・ **ホフマン輪窯6号窯②**
サブエントランスのサイン
レンタサイクルのサイン

テーマ③ 文化財に配慮した建築計画

■文化財を守る構造・設備計画

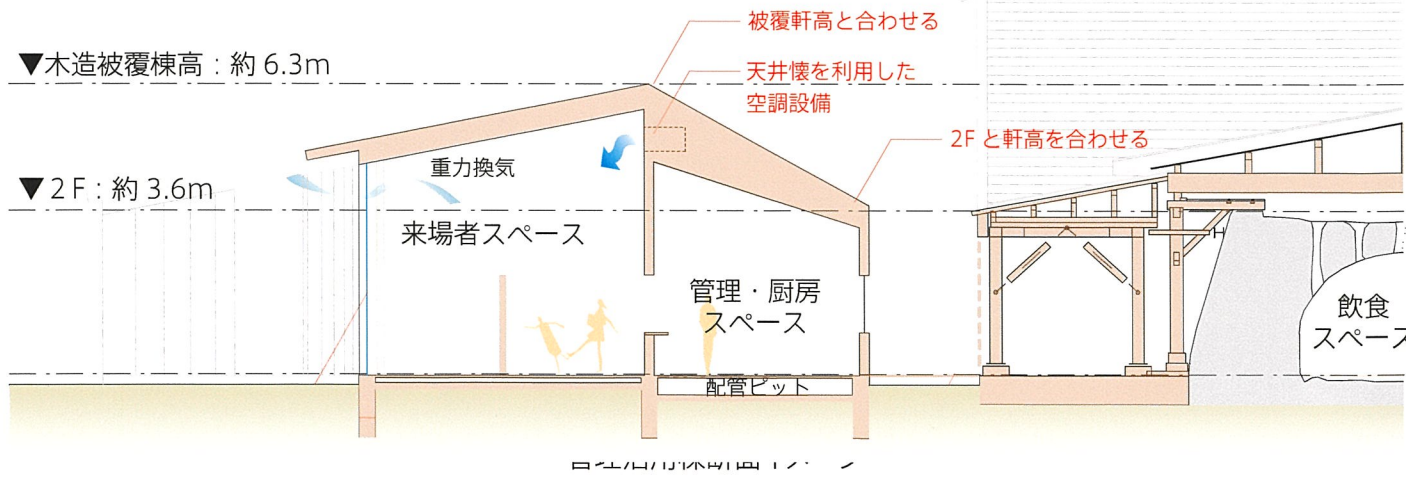
- ・6号輪窯への延焼を防ぐため準耐火構造を主体としつつ、**バックヤード部分はブレースで固め耐震性を高めると共に、自主的に耐火構造の仕様**とします。**火災時にフラッシュオーバーの要因となることから天井への木材使用は避け、天井は不燃仕上げ、屋根は耐火構造**とします。
- ・今回計画は使いながら保存する「**動態保存**」の計画です。活用されながら保存される建物であるからこそ、管理活用棟も含め**構造的な安全性については十分に配慮した計画**とします。
- ・管理活用棟の基礎の設計では、地盤調査結果の綿密な読み込みを行い、6号輪窯に影響を生じさせない、**最適な基礎形状や地盤補強の選択**をします。
- ・文化財保護のため、**防火設備の仕様、取付位置、設置方法は文化庁や消防など関連各所と十分に協議**を行った上で計画を行います。
- ・消火活動時に利用する防火水槽は、**給水の引き込みがしやすく、消防車両等の乗り入れがしやすい**県道側に設けます。緊急時には備前渠の自然水利の活用も想定します。
- ・放火や落書き、盗難などを防ぐための**防犯計画を設計時に綿密に行います**。赤外線センサーや防犯アラーム、監視カメラ、防犯照明などをあらかじめ計画の中に盛り込みます。
- ・**セキュリティレベルはパブリックゾーンから気密ゾーンまで階層的にゾーニング**し、寄り付きやすい開放的な空間と機密性の高い空間のメリハリをつけます。
- ・業務内で**同様の文化財や煉瓦建築類似物件への訪問調査、管理運営者などへのヒアリングを実施**し、先行事例の知見を計画に取り入れます。

■ホフマン輪窯6号窯や周辺との調和

- ・歴史的建造物等に造詣が深い、建築史の大学専門家をアドバイザーとしてチームに加え、**まちなみ景観や歴史的視点からも適切なアドバイス**をもらい、6号輪窯や周辺エリアと調和した建築計画とします。
- ・管理活用棟の**最高高さはホフマン輪窯の木造覆屋の棟高さ約6.3m以下**とし、また、6号輪窯に隣接する**施設北東側の軒高さは鉄骨被覆の2F高さに合わせ約3.6m**とします。屋根形状は隣接する6号輪窯の覆屋と合わせた**切妻屋根**とし、両者の調和を図ると共に、周囲からの**6号輪窯の景観を損なわない計画**とします。
- ・外構計画では、6号輪窯のシンボルでもある煙突をはじめ、**建物外観をじっくり視認できる視点場**を複数個所に設けます。また、管理活用棟の一部に**屋上展望スペース**を設けることで、**上部からも6号輪窯や煙突を眺められるようにし、また地域のシンボルである赤城山や周辺の街並みも望める**ようにします。
- ・**夜のライトアップも想定した照明計画**とし、冬季の日が短い期間の営業やナイトツアーの開催も行えるようにします。

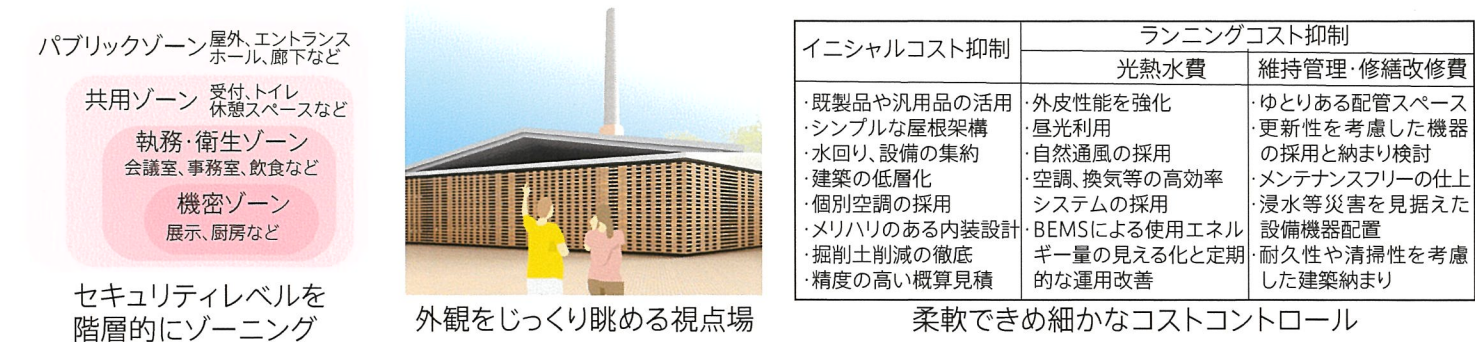
■ホフマン輪窯6号窯の鉄骨被覆外装デザイン、管理運用棟の外装デザイン

- ・6号輪窯の鉄骨被覆外装材については、深谷のシンボルである煉瓦のイメージを継承し、**煉瓦を外壁に採用**します。**煉瓦壁は格子状に組むことで視線が通る壁**として、煉瓦越しに内部の様子が垣間見え、視線を導入することで施設へと向かう期待感を高めます。
- ・格子状の煉瓦壁は**煉瓦同士の間隔を調整することにより、開口率を調整**します。遮蔽性が求められるバックヤードや道路・隣家側、西日が差し込む面は透過率を下げ閉じた空間とし、エントランスアプローチや換気・採光が求められる飲食スペースまわりなど管理運用棟との間は透過率の高い空間とします。
- ・管理運用棟も6号輪窯と**仕上げを合わせ煉瓦外壁を採用**します。同時に雰囲気だけを似せた、似て非なるものにならないよう、現代の建築としての軽快さを表現するために、**施設南西側はガラス張りを主体**として来場者利用空間に十分な採光を採りこみ、屋外空間に開く計画とします。



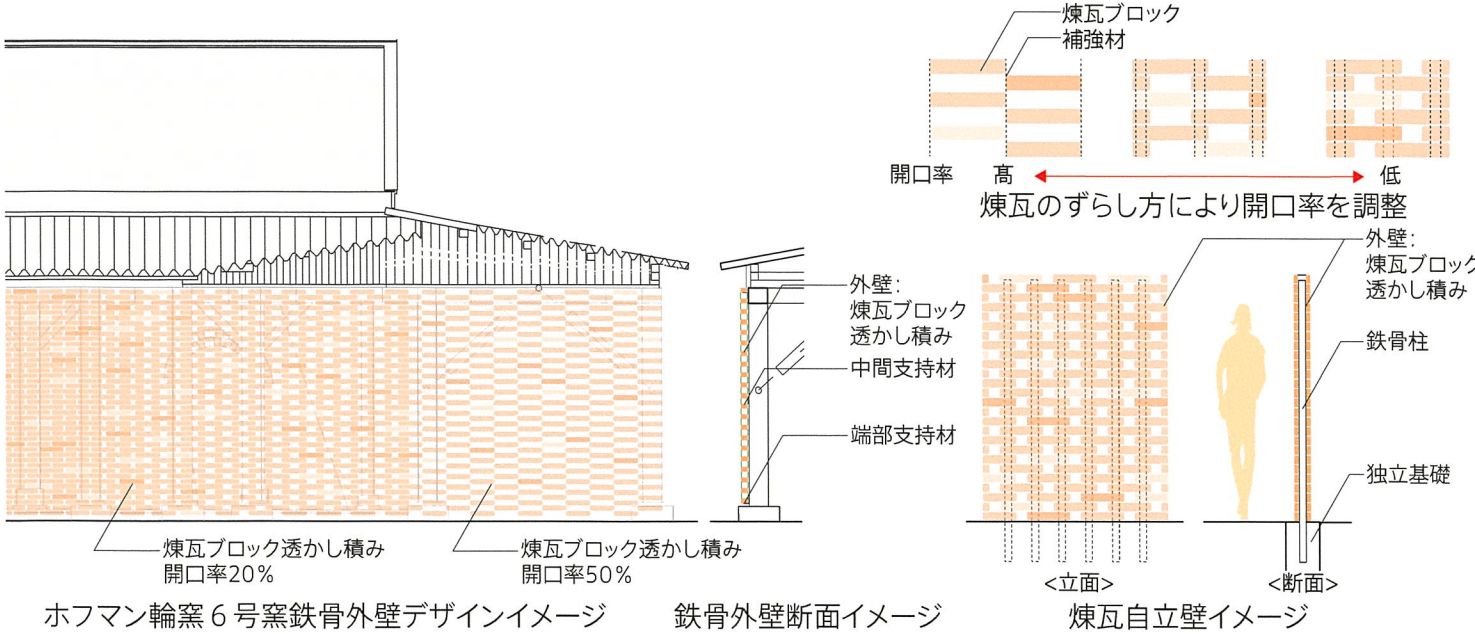
■最新の注意を払った建設工事計画

- ・6号輪窯棟と管理活用棟の**工事エリアや資材置き場を明確に区分**することで、工事中の6号輪窯及びその周辺への関係者以外の立ち入りや、文化財の誤った破損、事故などを防ぎます。
- ・施工では現場溶接など、**火花や高熱を発生する工具を用いた施工を避ける建築計画**とします。
- ・鉄骨建て方時のクレーンなど大型重機を伴う施工に関して、使用が想定される**重機の旋回性や可動領域を設計の際にあらかじめ確認**し、6号輪窯に影響の出ない、部材の長さやガラス・パネルの割付を決定します。重量のある建設重機に関しては鉄板の敷き込みをおこなう仕様とし、**敷地の地盤沈下を予防**します。
- ・設計段階、工事発注段階、施工の各段階で**PKY(Planning 危険予知)を実施**し、安全性を高め事故を未然に防ぎます。



■100年使い続ける建築

- ・管理活用棟も6号輪窯同様**100年使い続ける建築**とし、メンテナンスや改修を少なくすることで、**工事による文化財への影響を軽減**させます。
- ・建材の選定では、**耐久性、メンテナンス性に考慮し自然素材と工業製品を融合**させ、深谷らしい空間を創ります。
- ・自然素材では、地場の**煉瓦を多用**し、造作家具などに**県産の杉材を使う**ことで、ロングライフ、エイジングにより**愛着が湧き、永く愛される建築**とします。
- ・**費用対効果を意識した環境技術の選択、汎用標準製品を利用**することで、初期設備費を削減すると共に、代替ストックや更新がしやすい計画とします。ライフサイクルコストを念頭に入れた計画とします。
- ・仕上げや設備機器の選定は、**部位毎の更新時期を同期化できる計画**とすることで、改修の回数とコストを抑えます。
- ・厨房やトイレなど水回りは**ゆとりある深さの配管ピット**を設けることで、メンテナンス・更新性を高めます。



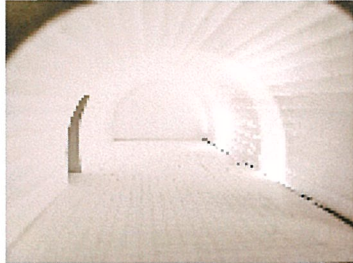
テーマ④「煉瓦窯の魅力を活かした飲食エリアのデザイン」

■煉瓦窯の魅力を活かす演出

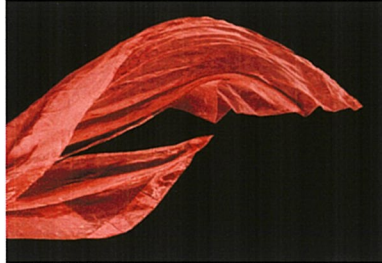
- ・6号輪窯内に設けられる飲食エリアを**もっとも滞在時間の長い展示室**としてとらえ、**煉瓦等の素材を存分に感じられ**、かつてこの場所で煉瓦がつくられていたことを**想起させる空間**とします。
- ・窯内の落ち着いた雰囲気は継承しつつ、**炎に見立てたファブリック**や壁面を照らす間接照明、**煉瓦と調和する素材**を什器等に用いることで、輪窯の持つ魅力を最大限に引き出します。
- ・什器は石材や鉄鋼など**シャープなデザイン**と**煉瓦の質感**、窯の煉瓦と鉄骨補強材の**工業的な堅い要素**とファブリックや間接照明等の**やわらかい要素**など様々な対比をさせることで、煉瓦の持つ**温かみや力強さを強調**させます。



現在の輪窯内の様子



壁面照明イメージ



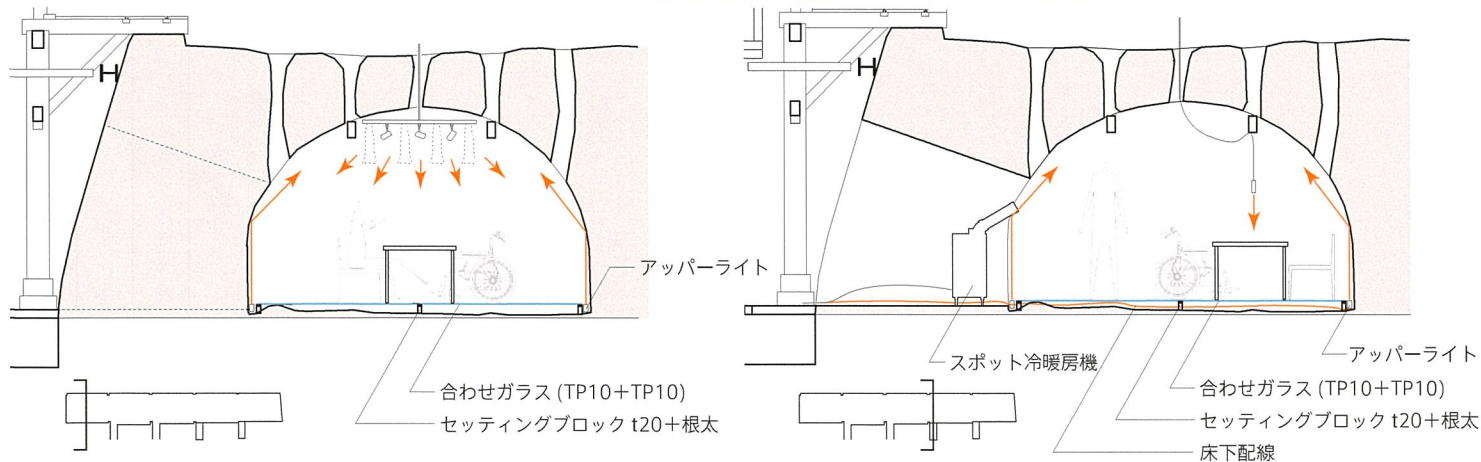
炎に見立てたファブリック



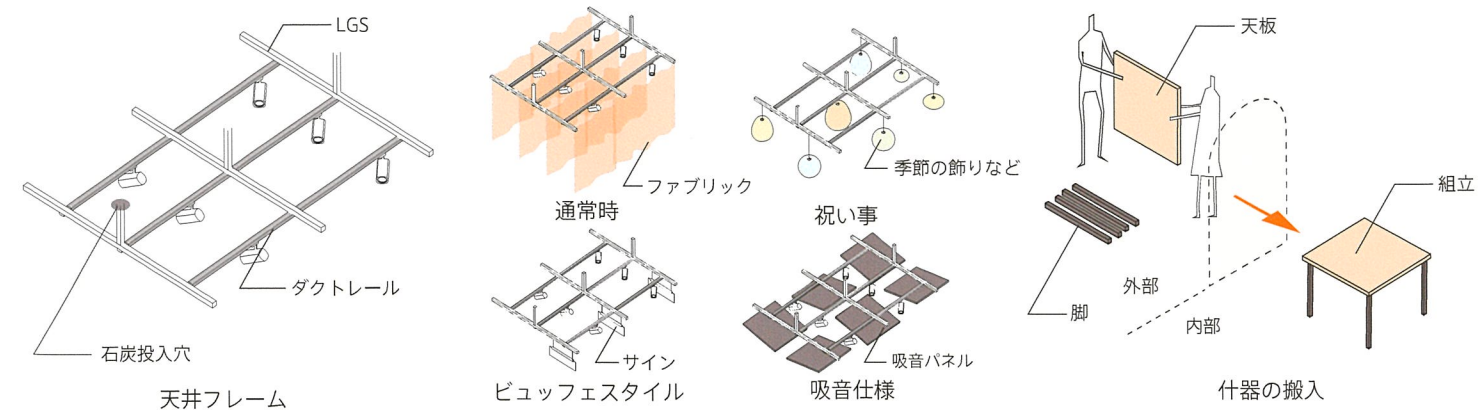
煉瓦と調和する什器イメージ

■重要文化財に配慮したインテリア・設備計画

- ・国指定の重要文化財である6号輪窯の**景観、保存に細心の注意を払い、インテリア・設備計画**をおこないます。
- ・床を合わせガラスの二重床とし、**保護しながらも可視化**することで素材を感じられるようにします。根太をひき、上部にセッティングブロックを設置することで窯の床本体に固定することなく揺れを軽減します。
- ・床間から配線された**壁際のアップライトによって室内全体をやわらかく照らし**、各テーブルに**天井からのタスク照明を照らす**ことで照明器具を目立たせない計画とします。
- ・空調は工事不要のスポット冷暖房機を用い、**使われていない開口部を有効活用し収納**します。

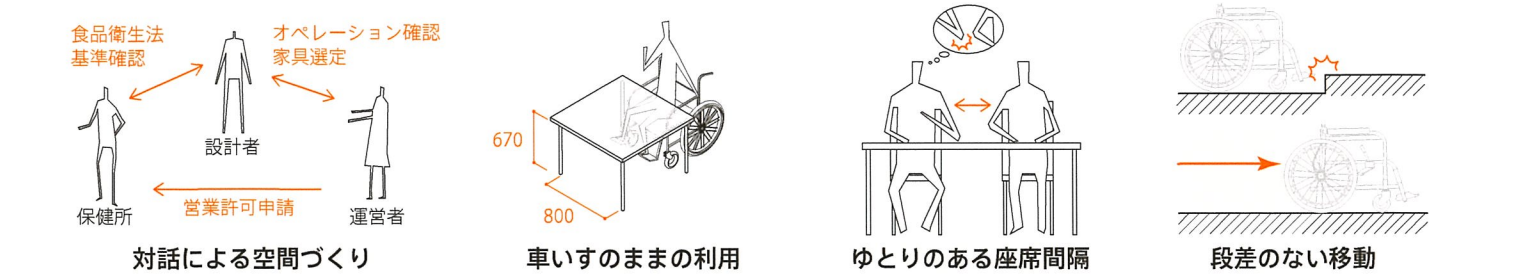


- ・天井にある石炭の投入に用いられていた穴を利用することで**既存天井・壁面に手を加えることなく天井中央にLGSとダクトレールによるフレームを形成**します。ダクトレールにより**使い方に応じた照明のセッティングが可能**です。
- ・フレームは、炎を模したファブリックによる演出に利用し、祝い事には季節やその場の雰囲気に合わせた飾り付け、ビュッフェスタイルには料理名、料理ジャンル等を示すサインを吊り下げるなど**フレキシブルな利用が可能**です。
- ・トンネル状の室内形状では音の反響が大きくなることが予想される為、**吸音材やサウンドマスキング機器**などもフレームに取り付け可能です。
- ・机や設備は**建物本体を傷つけることなく**搬入できるサイズのものや、内部での組み立てが可能なものとします。



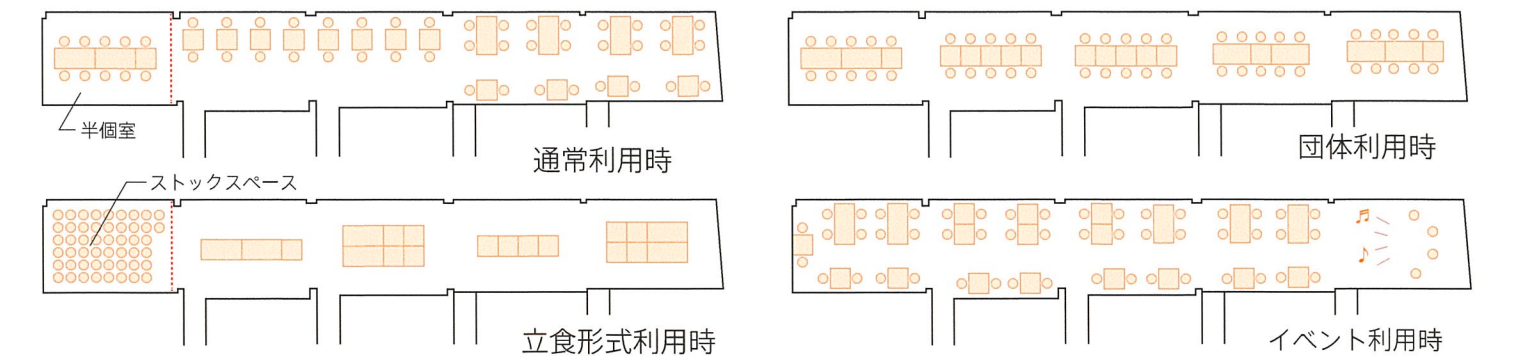
■バリアフリーな食事の場

- ・飲食運営事業者の方や保健所と入念な打ち合わせをし、飲食エリアを様々な方にとって**衛生的で使いやすいバリアフリーな空間・運営**とします。
- ・家具は**車いすの方が使いやすい寸法を基準**とし、椅子を取り払って車いすのままの利用も可能とします。座席間の幅が広めになっているため、利き手違いによる衝突を軽減し、配膳も容易となります。
- ・座席はひじ掛けありのものとし、机と共に滑りにくい素材とすることで立ち上がりやすいものとします。
- ・什器等は衝突を避けるため、**煉瓦とのコントラストを意識した色彩計画**とし、赤と緑、水色と桃色など色覚障害をお持ちの方が識別しにくい色を避けた**分かりやすい誘導・サイン計画**とします。
- ・二重床は床下の配線、設備を効率的に配置し最小限のものとすることで高さ抑え、**管理運営棟から段差なくアクセス**できるようにします。



■レイアウトフリーな家具

- ・輪窯内での飲食という特別な体験は通常の食事だけに**留まらず様々な場面での利用**が想定されるため、**フレキシビリティの高い計画**とします。
- ・家具は位置が固定されてしまうものは避け、2～4人掛けのテーブルを多く用いることで狭長な空間においても通常利用やバスツアーの**団体利用**に加え、**立食形式利用**や**イベント利用**にも対応可能となります。
- ・家具を規格をそろえ、**レイアウト変更をしやすく、スタッキング**できるものとします。万一の破損などが起きた際の**取り替えも容易**に行えます。
- ・天井からのカーテンや衝立を利用し、予約客や小規模の団体のための**半個室空間対応も可能**とします。



■窯内への動線計画

- ・管理活用棟から飲食エリアへのアクセスは最短でつなぎ、ホフマン輪窯に入る手前のスペースを、利用者動線側は**待合や展示に利用**し、飲食スタッフ動線側は**カトラリー等置き場や予備什器やチャイルドシート、ベビーカーの預かりスペースとして活用**します。

